

1 ホーチミン日本人学校について

平成9年度15名の児童生徒で開校しました。在任していた時の児童生徒数は、平成23年度に小中合わせて、238名、平成24年度は280名、平成25年度は330名でした。現在の平成26年度は400名を超える人数で、一年間に約50名ずつ増加している状況でした。



(1) 学校の特色

児童生徒は、バスでの登下校がほとんどでした。職員は、登校時に玄関や教室で児童生徒を出迎えます。また、下校時には、全職員で手を振り、児童生徒を送り出していました。児童生徒を大切にす姿勢が伺えました。ホーチミン日本人学校の特色として挙げられるのは、通年での水泳の授業や週3回行われる英会話の授業です。ホーチミンは、1年を通して、気温が高いため、水泳の授業を通年でい、年に1度、全校児童生徒対象の水泳記録会も実施していました。週3回（中学生は週2回）の英会話の授業では、ネイティブスピーカーである講師とコーディネーターが、レベルに合わせて、各学年5クラスを編成し、授業を行っていました。

修学旅行は、小学6年生で首都ハノイ。中学2年生はフエ・ホイアンに2泊3日で行っていました。



ランタンがきれいな世界遺産の町ホイアン



王朝時代の歴史が残るフエ

地域交流として、レバンタム小学校（現地校）や韓国人学校との交流会がありました。また、小学6年生は、修学旅行でハノイ日本人学校を訪問して交流を深めました。



お互いの文化を遊びで伝え合ったレバンタム小学校での交流



中学1年生での韓国人学校との交流

小学6年生は平和教育の一環として、ツーザー病院を訪問して、小学6年生が訪問して、一緒に遊んだり、食事をしたりしました。平和村に住む子ども達を見て、最初は戸惑いがあったようですが、お互いに心を通じ合わせて活動する姿が見られました。ベトナム戦争の枯れ葉剤の影響によって障害をもった子ども達との交流は大変貴重なものでした。

<主な行事>

- 5月 小中合同の運動会
- 6月 父親の多くが参観する日曜参観
- 7月 通年で行われる水泳の授業の一環としての水泳記録会
- 10月 音楽劇や合奏をメインとした学習発表会（ホーチミン祭）
- 1月 日本文化に触れ合う百人一首大会
- 2月 商工会が運営する学校であることから、日本の歌やリコーダー演奏、ソーラン節の踊りなどを披露した商工会バザー時の発表

小学校の校外学習として、様々な企業・公共施設に訪問しました。

小学3年の社会科では、自分たちの住んでいる町の暮らしについて調べることが主な学習となっています。この社会科の学習の一環として校外学習を計画・実施しました。

日本人学校周辺の散策（徒歩、シクロ体験）として、まず、白地図を作ることを目的に、学校から近くの公園までを散策しました。日本ではなく海外という環境から、教師だけでなく学校に常駐する警備員の協力も得て行いました。児童は普段、車やバスでの移動が多く、学校近くを歩いて散策する機会はなく、散策することで、家屋や公園などの様子を体感させることができました。シクロは、自転車を改良して、前方に人を乗せるシートを取り付けた乗り物です。ベトナム文化の一つと言える物です。そのシクロに児童二人組みで乗車し、ホーチミン市の7区フーミーフン地区を散策しました。初めてシクロに乗車する児童も多く、好奇心をもって散策することができました。



小学3年生のシクロ体験にて

日本人学校近隣のスーパーマーケットの見学では、グループを構成し、店員や買い物客へのインタビュー活動を中心に行いました。各グループには、国際家庭の児童を配置し、ベトナム語でのインタビュー活動を試みました。また、日本語を話せる店員には、日本語でインタビューをしました。学校から現地事務スタッフに同行してもらい、細かな質問については通訳をお願いしました。買い物客は多く、日本人の方もいて、インタビューに快く応じてもらえました。商品の産地、また、どのように流通しているかなど詳しく聞くことによって、現地の生活について理解を深めることとなりました。

日本人学校近隣のスーパーマーケットの見学では、グループを構成し、店員や買い物客へのインタビュー活動を中心に行いました。各グループには、国際家庭の児童を配置し、ベトナム語でのインタビュー活動を試みました。また、日本語を話せる店員には、日本語でインタビューをしました。学校から現地事務スタッフに同行してもらい、細かな質問については通訳をお願いしました。買い物客は多く、日本人の方もいて、インタビューに快く応じてもらえました。商品の産地、また、どのように流通しているかなど詳しく聞くことによって、現地の生活について理解を深めることとなりました。

日本企業のミシン工場に行き、見学とインタビュー活動を行いました。この工場では、部品の製造からミシン製品に至るまで、全ての工程を行っています。児童は、材料から部品ができるところや、様々な部品の取り付け、最終的に1日に何台製作しているかなど、興味深く見学していました。ベトナム市場では、安い物が購入されやすく、安くて良い物をつくることをモットーにしていると工場の方は話していました。一つ一つの行程を工場の方が丁寧に説明してくれたため、児童にとって大変学習になりました。

(2) 保護者や地域の要望

毎年、保護者向けのアンケートを実施していました。保護者の要望で特に多いのは、学力と英語力の向上、ベトナムの現地理解でありました。日本人向けの塾などは少なく、保護者の授業に対する要求は高いものがありました。授業参観では、多くの保護者が訪れ、授業を受ける児童生徒の姿を参観するだけでなく、学習内容について、児童生徒と一緒に考えて真剣に考える保護者の姿も珍しくはありませんでした。保護者の多くは、海外での生活経験が長く、英会話の必要性を実感しています。そ

のため、児童生徒には、確かな英語を身につけてほしいと切に願っていました。また、ベトナムという国に居住している者として、ベトナムの言語や文化、生活を知ってほしいという願いも保護者からは強く感じました。

2 海外での日本人の教育

ホーチミンは、ハノイのように四季はなく、熱帯気候のため、一年中暑いのが特徴です。児童生徒の登下校は、基本的にバスになります。また、家庭でも車での移動が多く、歩いたり、走ったりということが日常生活で自然にできない環境にあります。これらの環境もあり、児童生徒の体力は、日本の児童生徒と比較するとかなり低いと感じました。

国際家庭（父親が日本人、母親がベトナム、韓国、タイなどの外国人）の子ども達が、全体の3割強を占めていました。国際家庭の児童生徒は、生活の中で日本語を使う機会が少ないため、語彙力を高めることが難しいところがありました。反面、長期休みに日本へ帰国し、夏期講習などに参加して学力を高める児童生徒もいました。そのため、児童生徒の学力の差は大きく、個別に対応する必要性を感じましたが、下校時間が決まっているため、昼休みなどの短い時間で補習するのが精一杯でした。

学力の向上は今後の課題となりますが、ホーチミン日本人学校では、不登校の児童生徒は一人もいませんでした。これは、日本の学校では現在あり得ないことです。転出、転入が多いこの学校では、通学する児童生徒は、転入生との出会いをとっても大切にしています。また、自分が転入生として来た時の在校生の歓迎が強く印象に残っているため、転入生に学校のことを懇切丁寧に教える児童生徒が多いことも要因としてあげられます。さらに、保護者の熱い思いや派遣教員の親身な対応があったからと思っています。

海外で生活する児童生徒にとって、在外教育施設での学びは、とても有意義なものであると思います。日本人としての学力を身につけるだけでなく、海外だからこそ日本の文化や歴史を伝える場としても日本人学校は存在します。また、各国の事情に応じて、教育課程を編成し、児童生徒が海外で充実した生活を過ごせるようにすることも在外教育施設には必要であると実感しました。

3 日本人学校を経験してのこれからの教育活動

これまでの学校教育を考える時に、他校や県外の学校と比較して考えてきましたが、日本人学校での経験を通して、世界で通じる学校教育は、どのようなものなのかを考えるようになりました。

日本人学校での経験を通して、改めて日本の良さを認識し、教科や学活などの場で日本の良さをしっかりと伝えていきたいと思っています。

4 ベトナムについて

ベトナムは東南アジアに位置していて、北には中国、西にはラオス・カンボジアがあります。首都はハノイ。観光の中心は、南部のホーチミンです。日本で例えると、ハノイは東京。ホーチミンは、大阪です。日本とベトナムの関係は良好で、任期中に日本とベトナムは外交関係40周年を迎えました。治安は良い方でしたが、犯罪としては、外国人を狙ったひったくり、窃盗が多く、場所によっては、危険なところもありました。



ベトナムの人口は、約9170万人（2013年）。
通貨は、ベトナムドン（VND）です。

10,000VND = 約50円

公用語は、ベトナム語です。

発音に難はありますが、ローマ字読みに近いので、覚えやすいところがありました。

さようなら tạm biệt 【タン ビエ】	こんにちは! Xin chào 【シンチャウ】	ありがとう cảm ơn 【カム オン】
------------------------------	-------------------------------	----------------------------



ハノイから車で3時間。世界遺産ハロン湾



ハロン湾で捕れたカブトガニ。
滋養強壯の食べ物として売られていました。

5 ホーチミンについて



どこまでも 4000 ドンだった市バス。



観光と言えば、大聖堂と中央郵便局。



初乗り 12000 ドンのタクシー。



ビテクスコタワーからの風景。



とにかくバイクの多いホーチミン。



ブンボーフエという麺料理。



テト（旧正月）の風景。



いつも賑わっていたベントアン市場。



とてもおいしいバインミー。